



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年4月30日

上場会社名 株式会社 田谷 上場取引所 東  
 コード番号 4679 URL <https://www.taya.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田谷 和正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 落合 一 TEL 03-6384-2231  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,075	△6.8	37	877.3	34	709.9	△160	—
2025年3月期	5,444	△6.8	3	—	4	—	△62	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△25.81	—	△26.5	1.6	0.7
2025年3月期	△12.46	—	△14.4	0.2	0.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,217	798	36.0	107.43
2025年3月期	1,986	416	20.9	81.50

(参考) 自己資本 2026年3月期 798百万円 2025年3月期 414百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	72	△192	460	507
2025年3月期	△67	△167	134	166

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年3月期の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

## 3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,566	0.9	1	—	1	—	△12	—	△1.69
通期	5,200	2.5	40	5.6	40	17.2	10	—	1.35

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	7,540,000株	2025年3月期	5,186,000株
2026年3月期	102,946株	2025年3月期	102,946株
2026年3月期	6,218,396株	2025年3月期	5,003,399株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
(1) 役員の異動 .....	16
(2) その他 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復傾向にある一方、エネルギーコストや原材料の価格上昇は依然として継続し、中東情勢の影響や米国の通商政策をめぐる動向もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、美容室のオーバーストア状態による店舗間競争の激化や労働需給逼迫による美容師の獲得難、物価上昇による個人消費の停滞の懸念もあり、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社創業60周年「アニバーサリーキャンペーン」を引き続きおこない、「TAYAブランドのリブランディング」、「フリーランス事業の確立」、「本部構造の改革」の3つの施策を重点的に取り組み、多様化する社会の中においてお客様に愛され続ける美容室を目指すと同時に、収益の安定化を推し進め、持続的成長と企業価値向上に努めてまいりました。

店舗の状況につきましては、フリーランス美容室の新規出店を1店舗（ano渋谷）実施いたしました。また、直営美容室の改装6店舗（TAYA京都伊勢丹店、TAYAけやき通り店、TAYA熊本光の森店、TAYA大阪上本町SmartSalon店、TAYAつくし野店、TAYA浜田山店）、閉鎖3店舗（TAYA青葉台東急スクエア店、TAYAみなとみらい東急スクエア店、ano心斎橋店）実施いたしました。これにより、当事業年度末の美容室店舗数は、61店舗となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は5,075百万円（前年同期比6.8%減）となり、営業利益37百万円（前年同期は3百万円）、経常利益34百万円（前年同期は4百万円）となりました。また、店舗閉鎖に係る費用や減損損失などを特別損失に169百万円を計上したことにより当期純損失は160百万円（前年同期は当期純損失62百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は2,217百万円となり、前事業年度末比231百万円の増加となりました。

流動資産の残高は909百万円（前事業年度末比352百万円増加）、固定資産の残高は1,307百万円（前事業年度末比121百万円減少）となりました。主な要因につきましては、現金及び預金の増加356百万円があったものの、建物の減少92百万円、ソフトウェアの減少22百万円、敷金及び保証金の減少16百万円があったことによるものであります。

当事業年度末の負債総額は1,418百万円となり、前事業年度末比151百万円の減少となりました。

流動負債の残高は771百万円（前事業年度末比95百万円減少）、固定負債の残高は647百万円（前事業年度末比55百万円減少）となりました。主な要因につきましては、未払消費税等の増加42百万円があったものの、社債の償還56百万円、未払金の減少35百万円、退職給付引当金の減少29百万円、長短借入金の純減25百万円があったことによるものであります。

当事業年度末の純資産は798百万円となり、前事業年度末と比べて382百万円増加いたしました。

主な要因につきましては、新株予約権の行使及び第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ272百万円の増加があったこと、2026年3月19日開催の臨時株主総会の決議により、資本金304百万円及びその他資本剰余金3,132百万円を資本準備金へ振替を行ったこと、繰越利益剰余金が160百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末20.9%から36.0%に増加いたしました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ341百万円増加し、507百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動の結果得られた資金は72百万円（前期は67百万円の支出）となりました。

これは主に、減価償却費99百万円、減損損失165百万円、未払消費税等の増加42百万円があったものの、税引前当期純損失132百万円、仕入債務の減少33百万円、退職給付引当金の減少29百万円、未払法人税等の支払額29百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、投資活動の結果支出した資金は192百万円（前期は167百万円の支出）となりました。

これは主に、敷金および保証金の回収による収入28百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出137百万円、資産除去債務の履行による支出28百万円、無形固定資産の取得による支出28百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において、財務活動の結果得られた資金は460百万円（前期は134百万円の獲得）となりました。

これは主に、社債の償還56百万円、長短借入金の純減25百万円があったものの、新株発行による収入270百万円、新株予約権の行使による収入272百万円があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第50期 2024年3月期	第51期 2025年3月期	第52期 2026年3月期
自己資本比率(%)	22.5	20.9	36.0
時価ベースの自己資本比率(%)	99.9	76.2	103.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	5.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	10.89

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

2. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについてはキャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第50期及び第51期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復基調が続くことが見込まれるものの、諸外国における地政学的リスクの高まりを背景とした原材料価格やエネルギーコストの上昇、資材不足等に起因する物価高の影響は継続するものと想定しております。これに伴い、当社においても店舗運営コストの上昇が続く見通しであります。

このような状況の下、当社は『Design the Evolution — 伝統を軸に未来をデザインする』をスローガンに掲げ、人的資本への投資を中核とした経営を推進してまいります。具体的には、美容師の技術力・提案力の向上を目的とした教育体系の高度化およびキャリアパスの明確化を通じて従業員エンゲージメントの向上を図り、生産性の向上に取り組んでまいります。

また、既存顧客の来店頻度向上および顧客単価の引き上げに資する接客力の強化に加え、ECやデジタル施策の活用による新規顧客の獲得を進めることで、人的資本の価値最大化を通じた増収の実現を目指してまいります。

次期の業績につきましては、売上高5,200百万円（前期比2.5%増）、営業利益40百万円（前期比5.6%増）、経常利益40百万円（前期比17.2%増）、当期純利益10百万円（前期は当期純損失160百万円）を見込んでおります。

なお、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。事業に影響を与える事象については慎重に見極め、今後修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において6期ぶりに営業利益および経常利益を黒字計上し、当事業年度においても営業利益、経常利益の計上となったことから、財務基盤の安定は着実に進んでおります。

しかしながら、確実に利益を計上できる状況には未だ至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社は前事業年度までに中期経営計画『TAYA BX (Beauty Transformation) PROJECT』を推進し、上記のような実績を挙げてまいりました。今期は、同計画の施策をさらにブラッシュアップし、収益改善および利益の安定化を盤石なものとするため、引き続き全社一丸となって取り組んでまいります。

具体的には、以下の3つの重点施策を実行しております。

### [リブランディングの更なる推進]

設備増強や高付加価値サービスの展開によって営業力を強化し、それを支える人材の育成・定着に注力することで、直営事業の底上げを図ります。

### [フリーランス事業の確立]

今後の増加が見込まれるフリーランス美容師を取り込むための組織整備を進め、同事業を早期に主要な収益源へと成長させることを目指します。

### [本部構造の抜本的改革]

業務の効率化とコスト削減を推進し、最終利益の黒字化に向けて全社を挙げて取り組んでまいります。

資金面につきましては、引き続き事業構造改革に必要な資金支援を取引金融機関から受けており、今後も緊密な連携と情報交換を通じて、将来必要となる資金の支援を得られるよう、良好な関係の維持に努めてまいります。

また、金融機関以外からの資金調達も適宜進めており、2025年1月10日付の適時開示に記載のとおり、EVO FUNDを割当先とした「第三者割当による第1回新株予約権（行使価額修正条項付）」については、2025年11月27日をもって新株予約権の全ての行使が完了し、総額299,825千円の資金調達となりました。また、新たに2025年12月25日付の適時開示に記載のとおり、L&Y貿易株式会社並びにSINO PRIDE VENTURES LIMITEDを割当先とする「第三者割当による新株式の発行」を決議し、2026年1月13日付で270,000千円の払込が完了いたしました。これらにより、今後事業を継続するための十分な手元資金を得られており、資金面での不安は解消はされたものと考えております。

これらの取り組みは現在進行中であり、今後の事業進捗や追加的な資金調達の状況によっては、当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があるため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、財務諸表は継続企業を前提としており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月31日)	当事業年度 (2026年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	175,066	531,781
売掛金	258,107	248,505
商品	23,665	23,906
美容材料	16,878	12,901
貯蔵品	5,894	5,666
前払費用	50,409	49,735
その他	28,295	38,043
貸倒引当金	△949	△558
流動資産合計	557,368	909,983
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,243,955	2,173,218
減価償却累計額	△1,802,966	△1,824,513
建物（純額）	440,988	348,705
構築物	15,970	20,130
減価償却累計額	△15,703	△15,799
構築物（純額）	266	4,330
工具、器具及び備品	168,070	179,650
減価償却累計額	△131,047	△140,120
工具、器具及び備品（純額）	37,022	39,529
土地	127,722	127,722
有形固定資産合計	606,000	520,287
無形固定資産		
ソフトウェア	89,013	66,714
その他	62	2,732
無形固定資産合計	89,075	69,446
投資その他の資産		
出資金	98	98
長期前払費用	9,257	9,478
敷金及び保証金	722,555	706,295
その他	2,345	2,345
投資その他の資産合計	734,256	718,217
固定資産合計	1,429,332	1,307,951
資産合計	1,986,701	2,217,934

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	9,088	—
電子記録債務	126,560	109,645
買掛金	38,009	30,219
短期借入金	70,002	49,989
1年内償還予定の社債	56,000	—
1年内返済予定の長期借入金	74,508	90,660
未払金	123,703	88,066
未払費用	244,354	240,106
未払法人税等	29,944	28,221
未払消費税等	8,314	50,899
契約負債	25,898	23,076
前受金	47	—
預り金	18,209	9,626
賞与引当金	37,260	32,998
資産除去債務	4,430	17,644
流動負債合計	866,331	771,154
固定負債		
長期借入金	255,913	233,906
退職給付引当金	226,847	197,261
資産除去債務	214,890	210,609
その他	6,060	6,060
固定負債合計	703,711	647,836
負債合計	1,570,042	1,418,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,344	30,000
資本剰余金		
資本準備金	12,344	3,722,251
その他資本剰余金	3,132,425	—
資本剰余金合計	3,144,769	3,722,251
利益剰余金		
利益準備金	66,920	66,920
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,700,255	△2,860,729
利益剰余金合計	△2,633,335	△2,793,809
自己株式	△159,497	△159,497
株主資本合計	414,281	798,943
新株予約権	2,377	—
純資産合計	416,658	798,943
負債純資産合計	1,986,701	2,217,934

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年 4 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 2025年 4 月 1 日 至 2026年 3 月 31 日)
<b>売上高</b>		
美容施術売上高	4,803,527	4,494,715
商品売上高	550,107	471,368
その他の売上高	90,940	109,466
売上高合計	5,444,575	5,075,549
<b>売上原価</b>		
美容施術売上原価	4,310,451	4,006,870
商品売上原価	283,487	239,545
その他の売上原価	8,488	8,710
売上原価合計	4,602,427	4,255,126
売上総利益	842,148	820,423
販売費及び一般管理費	838,263	782,453
営業利益	3,885	37,969
<b>営業外収益</b>		
受取利息	145	737
助成金収入	2,581	4,160
協賛金収入	2,863	3,404
物品売却益	3,636	—
受取保険金	14	2,213
受取補償金	—	1,873
その他	5,764	3,700
営業外収益合計	15,005	16,089
<b>営業外費用</b>		
支払利息	5,441	6,769
資金調達費用	5,545	9,584
その他	3,659	3,322
営業外費用合計	14,645	19,676
経常利益	4,245	34,382
<b>特別利益</b>		
受取保険金	—	3,000
特別利益合計	—	3,000
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	1,521	1,280
減損損失	—	165,021
資産除去債務履行差額	8,924	—
店舗閉鎖損失	26,181	3,334
特別損失合計	36,626	169,636
税引前当期純損失 (△)	△32,381	△132,253
法人税、住民税及び事業税	29,944	28,221
法人税等合計	29,944	28,221
当期純損失 (△)	△62,325	△160,474

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	50,000	—	3,132,425	3,132,425	66,920	△2,637,929	△2,571,009
当期変動額							
新株の発行							
新株の発行（新株予約権の行使）	12,344	12,344		12,344			
減資							
剰余金から準備金への振替							
当期純損失（△）						△62,325	△62,325
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	12,344	12,344	—	12,344	—	△62,325	△62,325
当期末残高	62,344	12,344	3,132,425	3,144,769	66,920	△2,700,255	△2,633,335

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△159,497	451,918	—	451,918
当期変動額				
新株の発行				
新株の発行（新株予約権の行使）		24,688		24,688
減資				
剰余金から準備金への振替				
当期純損失（△）		△62,325		△62,325
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			2,377	2,377
当期変動額合計	—	△37,636	2,377	△35,259
当期末残高	△159,497	414,281	2,377	416,658

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	62,344	12,344	3,132,425	3,144,769	66,920	△2,700,255	△2,633,335
当期変動額							
新株の発行	135,000	135,000		135,000			
新株の発行(新株予約権の行使)	137,568	137,568		137,568			
減資	△304,912	304,912		304,912			
剰余金から準備金への振替		3,132,425	△3,132,425				
当期純損失(△)						△160,474	△160,474
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	△32,344	3,709,906	△3,132,425	577,481	—	△160,474	△160,474
当期末残高	30,000	3,722,251	—	3,722,251	66,920	△2,860,729	△2,793,809

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△159,497	414,281	2,377	416,658
当期変動額				
新株の発行		270,000		270,000
新株の発行(新株予約権の行使)		275,137		275,137
減資				
剰余金から準備金への振替				
当期純損失(△)		△160,474		△160,474
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△2,377	△2,377
当期変動額合計	—	384,662	△2,377	382,285
当期末残高	△159,497	798,943	—	798,943

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△32,381	△132,253
減価償却費	88,589	99,440
減損損失	—	165,021
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,322	△4,262
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,531	△29,586
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△391
受取利息	△145	△737
支払利息	5,441	6,769
資金調達費用	5,545	9,584
固定資産除却損	1,521	1,280
資産除去債務履行差額	8,924	—
店舗閉鎖損失	26,181	3,334
受取保険金	—	△3,000
売上債権の増減額(△は増加)	23,596	9,554
棚卸資産の増減額(△は増加)	△177	3,964
仕入債務の増減額(△は減少)	15,190	△33,793
未払金の増減額(△は減少)	△2,331	6,738
未払費用の増減額(△は減少)	△88,669	△4,247
契約負債の増減額(△は減少)	△8,524	△2,821
未払消費税等の増減額(△は減少)	△59,545	42,584
その他	28,308	△19,364
小計	2,271	117,816
利息の受取額	142	715
利息の支払額	△6,229	△6,691
資金調達費用の支払額	△5,545	△9,584
保険金の受取額	—	3,000
店舗閉鎖損失の支払額	△25,828	△2,430
法人税等の支払額	△31,922	△29,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67,111	72,882

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8,833	△23,843
定期預金の払戻による収入	10,834	8,833
有形固定資産の取得による支出	△197,722	△137,828
無形固定資産の取得による支出	△36,696	△28,779
敷金及び保証金の差入による支出	△4,236	△7,369
敷金及び保証金の回収による収入	123,059	28,693
資産除去債務の履行による支出	△48,459	△28,539
その他	△5,145	△3,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,199	△192,064
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	44,000	43,000
短期借入金の返済による支出	△70,341	△63,013
長期借入れによる収入	145,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△67,344	△85,855
社債の発行による収入	80,000	—
社債の償還による支出	△24,000	△56,000
株式の発行による収入	—	270,000
新株予約権の発行による収入	2,554	—
新株予約権の行使による収入	24,511	272,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,380	460,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△99,944	341,706
現金及び現金同等物の期首残高	266,177	166,232
現金及び現金同等物の期末残高	166,232	507,938

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、前事業年度において6期ぶりに営業利益および経常利益を黒字計上し、当事業年度においても営業利益、経常利益の計上となったことから、財務基盤の安定は着実に進んでおります。

しかしながら、確実に利益を計上できる状況には未だ至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社は前事業年度までに中期経営計画『TAYA BX (Beauty Transformation) PROJECT』を推進し、上記のような実績を挙げてまいりました。今期は、同計画の施策をさらにブラッシュアップし、収益改善および利益の安定化を盤石なものとするため、引き続き全社一丸となって取り組んでまいります。

具体的には、以下の3つの重点施策を実行しております。

[リブランディングの更なる推進]

設備増強や高付加価値サービスの展開によって営業力を強化し、それを支える人材の育成・定着に注力することで、直営事業の底上げを図ります。

[フリーランス事業の確立]

今後の増加が見込まれるフリーランス美容師を取り込むための組織整備を進め、同事業を早期に主要な収益源へと成長させることを目指します。

[本部構造の抜本的改革]

業務の効率化とコスト削減を推進し、最終利益の黒字化に向けて全社を挙げて取り組んでまいります。

資金面につきましては、引き続き事業構造改革に必要な資金支援を取引金融機関から受けており、今後も緊密な連携と情報交換を通じて、将来必要となる資金の支援を得られるよう、良好な関係の維持に努めてまいります。

また、金融機関以外からの資金調達も適宜進めており、2025年1月10日付の適時開示に記載のとおり、EVO FUNDを割当先とした「第三者割当による第1回新株予約権（行使価額修正条項付）」については、2025年11月27日をもって新株予約権の全ての行使が完了し、総額299,825千円の資金調達となりました。また、新たに2025年12月25日付の適時開示に記載のとおり、L&Y貿易株式会社並びにSINO PRIDE VENTURES LIMITEDを割当先とする「第三者割当による新株式の発行」を決議し、2026年1月13日付で270,000千円の払込が完了いたしました。これらにより、今後事業を継続するための十分な手元資金を得られており、資金面での不安は解消はされたものと考えております。

これらの取り組みは現在進行中であり、今後の事業進捗や追加的な資金調達の状況によっては、当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があるため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、財務諸表は継続企業を前提としており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)及び当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	4,803,527	550,107	90,940	5,444,575

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	美容施術	商品	その他	合計
外部顧客への売上高	4,494,715	471,368	109,466	5,075,549

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社は、美容事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	81.50	107.43
1株当たり当期純損失(△)(円)	△12.46	△25.81
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であるため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)(千円)	△62,325	△160,474
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△) (千円)	△62,325	△160,474
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,003	6,218

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

## ①代表取締役の変動

氏名	異動後（新役職名）	異動前（現役職名）
田谷 和正	相談役	代表取締役会長兼社長
保科 匡邦	代表取締役会長（CEO）	取締役 顧問
中村 正二	代表取締役社長（COO）	取締役 執行役員 （営業、教育、人事部門管掌）

※ 退任する田谷 和正氏は、新たに代表権を有さない相談役に就任する予定です。

## ②その他の役員の変動

その他の役員の変動につきましては、決定次第速やかに発表いたします。

## ③就任予定日

2026年6月23日

## (2) その他

## 区分別売上高比較

区分	前事業年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当事業年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		前期比較
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減(△) (千円)
美容施術	4,803,527	88.2	4,494,715	88.6	△308,812
商品	550,107	10.1	471,368	9.3	△78,738
その他	90,940	1.7	109,466	2.1	18,525
合計	5,444,575	100.0	5,075,549	100.0	△369,025